### (19)日本国特許庁 (JP)

# (12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

# 実開平5-28112

(43)公開日 平成5年(1993)4月9日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

識別記号

庁内整理番号

FI

技術表示箇所

H03F

8836-5 J

1/32 3/189

7328-5 J

3/68

В 7328-5 Ј

審査請求 未請求 請求項の数1(全 2 頁)

(21)出願番号

実願平3-75845

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

(22)出願日

平成3年(1991)9月20日

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)考案者 稲田 隆一

東京都港区芝五丁目7番1号日本電気株式

会社内

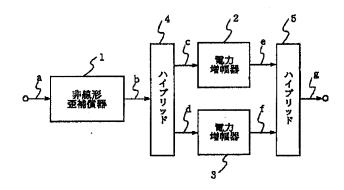
(74)代理人 弁理士 内原 晋

## (54)【考案の名称】 電力増幅器

### (57) 【要約】

【目的】重量・大きさを低減し、信頼度をあげ、非線形 歪を改善した電力増幅器を構成する。

【構成】同一の性能を有する電力増幅器2,3のそれぞれの入力端および出力端が、ハイブリッド4,5の分配および合成端子に接続され、ハイブリッド4の入力端子には非線形歪補償器1が接続されている。



#### 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 第1の端子に高周波信号を入力し第2 および第3の端子に前記高周波信号を等分して出力する第1のハイブリッド、前記第2の端子に接続される第1の増幅器、前記第3の端子に接続される前記第1の増幅器とほぼ同一性能の第2の増幅器、第1の端子に前記第1の増幅器出力を入力し第2の端子に前記第2の増幅器出力を入力し第3の端子から前記第1および第2の増幅器出力を合成して出力する第2のハイブリッドを含む並列増幅器と、出力端が前記第1のハイブリッドの第1の端

子に接続されて前記並列増幅器の非線形歪みを補償する 非線形歪補償器とを有することを特徴とする電力増幅 器。

### 【図面の簡単な説明】

【図1】本考案の一実施例のブロック図である。

【図2】従来例のブロック図である。

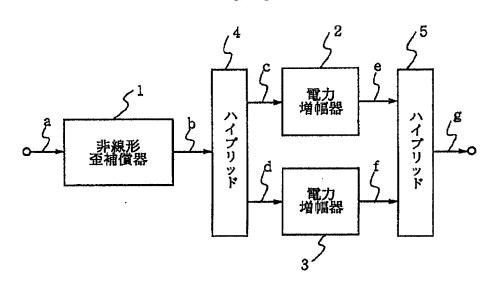
#### 【符号の説明】

1, 21, 22 非線形歪補償器

2, 3 電力増幅器

4.5 ハイブリッド

## 【図1】



【図2】

